



経緯

- 馬堀海岸高潮対策事業の経緯
- 国道16号緑陰道路プロジェクトの経緯
- PIについて
 - ・ オープンハウス
 - ・ アンケート調査結果(平成15年)
 - ・ 馬堀海岸地区環境整備検討会

馬堀海岸高潮対策事業の経緯

横須賀港馬堀海岸の護岸は昭和44年に築造されましたが、長年の波浪による老朽化に加え、平成7・8年の台風による高潮のため、背後の住宅地に住む約2,700世帯、8,000余名の人々が大きな被害を受けました。護岸背後は平坦な地形のうえ、国道16号をはさんだ海岸沿いには住宅市街地があることから、高波や高潮から多くの市民の生活と財産を守るため、平成12年2月から「馬堀海岸高潮対策事業」が実施され、平成18年3月に完成しました。

■平成7・8年の台風により発生した高潮被害■

○平成7年(台風12号)と平成8年(台風17号)の大型台風の際に発生した越波が原因で、護岸背後に広がる住宅地70ヘクタールが浸水し、2,700世帯、8,000余名の市民が直接的な被害を受けました。



平成8年の台風17号による馬堀海岸の被害

○平成8年9月22日の台風17号は、護岸沿いの国道16号の冠水や波による中央分離帯縁石の飛散などによって、交通機能を麻痺させました。三浦半島の東南端の浦賀・観音崎方面が分断され、市民生活に支障をきたすなど、間接的な影響も計り知れないものがありました。

■整備の経緯■

馬堀海岸地区を高潮浸水被害から守るため、「面的防護方式」という最新の高度な技術力を活かし、平成12年度～17年度にかけて整備しました。



平成13年12月撮影



平成18年4月撮影